



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「秋空にひびくファンファーレ」

★今回の道徳の授業のねらい

自分の学校のよさに気づき、協力し合って明るく楽しい学校をつくろうとする態度を育てます。

★お話のあらすじと内容

毎年町の人たちも集まる秋の子供祭りで、オープニングのファンファーレをトランペットで吹く上級生の姿に憧れて、ジュニアバンドに入った「ぼく」。先輩からのていねいな指導や用務の山口さんからの励ましもあって、練習を頑張ってきました。いよいよ今日は秋祭り。朝登校すると、山口さんから「ジュニアバンドのえんそうが、中町小のみんなを元気にしてくれる。」と言われてうれしくなり、校名入りのおそろいのシャツも誇らしく感じられて、深呼吸一つ、演奏にかかっていく、という内容です。

★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

- ・私は第一小学校の伝統とは何か考えてみました。運動会やマラソン大会はどちらも苦手です。でも、これまで皆さんが大切にしてきた行事なので、苦手だなんて思わないようにしていきたいと思いました。
- ・第一小学校でこれから大切にしていきたいもの、続けていきたいものは、運動会や音楽集会です。見ている人も楽しくなるような行事を続けていきたいです。
- ・私が大切にしたいものは校歌です。もうすぐ閉校になるけど、私はこの校歌をずっと覚えていきたいです。
- ・第一小学校で続けていきたいことは鼓隊です。鼓隊を成功させるために先生方が一生けん命教えてくれるし、高学年の人達も教えてくれるからです。私は来年の鼓隊を成功させたいと思います。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

愛校心とは、自分の学校がより明るく楽しい学校になってほしいと願う心です。人間が自己の長所を認識することにより成長するように、自分の学校に関してもそのよさを知ることによって、自分の学校を愛する心が育っていきます。この機会に、お子さんの長所、学校の好きなどころについて、ご家庭で話し合ってみてください。